

# TSUNAGU

## ～中学校区の特徴を生かした小中一貫教育～

小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

### 柏田中学校区の特徴ある取組み

柏田中学校区では、「**かんどう しんけん だいすき** ～学びを通してつながり輝く未来をきりひらく子～」をめざす子ども像として、**中学校区独自のアンケート**を実施し、子どもの実態を把握しながら、「小学校入学から中学校卒業まで」を合言葉に日々の実践に取り組んでいます。



### 輝く未来をきりひらく力の育成

柏田中学校区では、「知る力」「使う力」「考える力」「伝えあう力」「ともに学ぶ力」「向き合う力」「心をひらく力」「挑戦する力」の8つの「つきたい力」を軸に、さまざまな教育活動を行っております。今回はその中でも、「**ともに学ぶ力**」と「**心をひらく力**」の育成に関する実践について紹介します。

### ☆子ども同士のつながり☆ ～誰一人として取り残さない仲間づくり～

#### 中3による修学旅行報告会



6年生を対象に報告会を実施。これまで「平和」について学んできたことや修学旅行で新たに考えたことなど、「平和」について、ともに学び、深く考える機会となりました。

- ◆自分たちが修学旅行へ行く前に先輩たちから話を聞くことができ「平和」についてより深く考えることができた。(小学生)
- ◆小学生がうなずきながら聞いてくれて嬉しかった。話すことで、自分ももう一度考えることができた。(中学生)

#### 小6登校：合同クラス



中学校登校では柏田小と長瀬西小の『合同クラス』を編成。  
中学校入学前から自分のことを知ってもらい、相手のことを知ることができた時間となりました。

- ◆もう一つの小学校の子と友だちになることができたので、中学校へ行くのがもっと楽しみになった。(柏田小)
- ◆はじめは少し緊張したけれど、頑張って話すことができた。これからはもっと仲良くなりたいと思いました。(長瀬西小)

### 《かしたアンケート》

2021年度より中学校区独自のアンケートを実施し、子どもたちの実態を把握することにより、教育活動の成果や課題を分析し、次の取組みにつなげています。

昨年度との経年比較では、「心をひらく・ともに学ぶ」に関する数値が**上昇傾向**にあり、結果が出始めています。

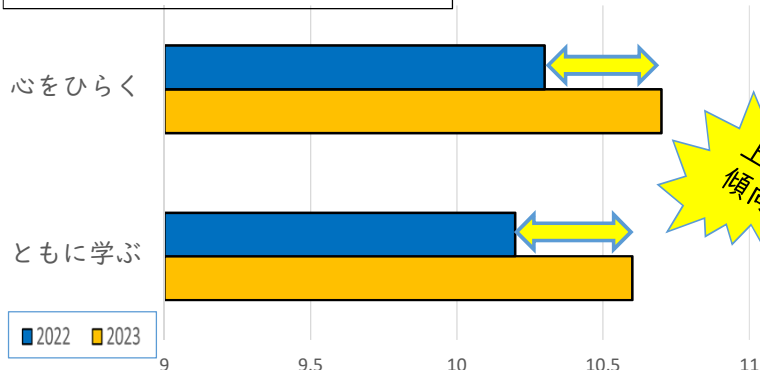
#### 授業（ペア・グループ）



クラスの誰とでも安心して聞き合う環境があり、授業の中でともに学ぶ機会を確保することで、新たな考えに気づいたり、深く学んだりすることができます。

- ◆友だちと一緒に考えることができ、最後に答えを出すことができたので、よかった。(小学生)
- ◆わからないときに教えてくれる友だちがいるから安心して授業に参加することができる。(中学生)

#### 《かしたアンケート》経年比較



アンケート項目

#### 【心をひらく力】

- ◆自分と他の人との違いを大切にすることができる
- ◆人のやさしさ・あたたかさを感じることができる
- ◆自分の悩みを話し合える人がいる

#### 【ともに学ぶ力】

- ◆友だちと協力して課題に取り組むことができる
- ◆友だちと勉強するのが楽しい
- ◆わからない時にわからないと伝えることができる

※アンケートについては、「つきたい力」1つに対して3つの質問項目を設定しています。(1項目4点→12点満点)

## 小阪中学校区の特色ある取組み

小阪中学校区には、小阪こども園、小阪小学校、八戸の里小学校、八戸の里東小学校、小阪中学校があり、これまでこども園と小中学校の交流（折り鶴交流やラグビー交流等）が盛んに行われており、すべての子どもが他者との関わり合いの中で、資質能力の育成に励んでおります。

### 地域全体が自分事として考えられる防災教育

小阪中学校区では、園児・児童・生徒一人ひとりの防災力の向上をめざした教育活動の実施とともに、学校・地域・保護者と公的機関との連携に基づく地域全体の防災力の向上をめざした小阪中学校区地域合同防災訓練を実施しております。

#### ～教育活動を通して自分事として考える防災～

小中学校では夢TRY科の授業で、防災について考えています。小学校4年生では「非常用リュックの中身と入れ方」について、小学校6年生では「自分の家から避難場所までの経路」について考えています。授業では、班やクラスで考えを発表し合い、家庭や場所による違いなどを知ること、さらに自分事として考える学習になっています。



（児童の振り返りより）

- ・自分の家には防災グッズが水しかないので、ラジオや食べ物を準備しておこうと思いました。人によって、必要なものがちがうことに気づいたから、家族と必要なものを考えたいです。
- ・自分の意見をみんなと共有して、危ない所や避難場所の確認をすることができたので良かったなと思いました。最短経路だけを考えるのではなく、川や高架下などいろいろなことを考えなければいけないと気づきました。

#### ～地域全体で自分事として考える防災～

小阪中学校区地域合同防災訓練では、「いざという時」に子どもたちが地域の方々と協力して行動できるようになることを目的に、地域の方々にも参加していただき、AED取扱訓練や、応急手当などを実施しました。



#### ○訓練内容○

- ◆ AED取扱訓練
- ◆ 初期消火訓練
- ◆ 地震体験車
- ◆ けむり体験
- ◆ 介護体験
- ◆ 応急手当
- ◆ 防災グッズ見学
- ◆ 講演会
- ◆ 簡易テント・簡易ベッド取扱訓練
- ◆ エコノミークラス症候群防止体操 など

当日は、多くの地域の方々も地域合同防災訓練に参加されました。



（参加した地域の方の感想より）

- ・新聞紙やラップを使って手当をするときに、中学生が丁寧に教えてくれた。一人でもできるようになった。
- ・災害時は自分だけでなく、みんなで協力して動かなくてはいけないと改めて思った。

#### 小阪中学校区地域合同防災訓練を通して・・・

防災訓練を通して、子どもたちは被災時の具体的な避難行動について学ぶとともに、地域の方と顔馴染みとなり、登下校のときや校区内で今まで以上に地域の方々とあいさつするようになるなど、地域とのつながりを実感しています。今後も「いざという時」に地域の方と協力して行動できるよう取組みを進めていきます。